

令和元年度 災害対策研修会

『災害から命を、人を、事業所を守るために』

～災害は現実！もしもは必ず起こると思い、もしもの時に備えよう。』

1. 目的

大規模地震災害とそれに続く原子力被災や余震被害、記録的・局地的豪雨の発生による大規模浸水、土砂災害など、近年日本では私たちの経験や想定を超えた災害が多発しているように感じられます。昨年9月に発生した胆振東部地震は、全道規模での停電による水道などのライフラインの途絶は、各事業所の運営はもちろん、災害弱者と言われている利用者の皆さんの生活は、深刻な打撃を受けました。

これまで、私たちは他の地域で起きた災害を他人事のように、「自分のところは大丈夫だろう。」「これまでも起こったことがないので関係ない。」と根拠もなく思っていたのではないのでしょうか。私たちは食料や飲料水、自家発電用の燃料の確保等に奔走するなど大変苦い経験をしました。このことは貴重な教訓となり、災害の現実を誰もが我がこととしてとらえ、それに対する備えを怠らないことの大切さを痛感したと思います。

そこで、災害に対する基本的な備えや基礎知識、被災された事業所の方々から体験を学び、普段から何を準備し、いざという時にどのように行動すべきかなど、私たちが今から災害に対して備えておくべきことを自分たちの課題として考えましょう。

2. 主 催 一般社団法人北海道知的障がい福祉協会
3. 協 力 空知知的しょうがい福祉協会
4. 日 時 令和元年9月27日 10時30分～16時00分
(受付9時45分開始)
5. 会 場 かでる2. 7 4階 大会議室(札幌市中央区北2条西7丁目)
6. 参加対象 北海道知的障がい福祉協会会員施設・事業所の職員
7. 参加定員 170名
8. 参加費 3,000円(当日申し受けます)
9. 締 切 令和元年9月13日(金)
10. 申込・問合せ 北海道知的障がい福祉協会(担当 藪)
電話 011-271-0228 FAX011-271-4202

11. 日 程

9 : 45 受付開始

10 : 30 開会

挨拶

北海道知的障がい福祉協会副会長 三戸部 隆

10 : 40 講義

「『まさか』は必ずやってくる」

北海道総務部危機対策局危機対策課防災教育担当課長 高見 里佳 氏

12 : 00 休憩

13 : 15 体験発表

①平成28年8月北海道豪雨災害

南富良野からまつ園 施設長 杉村 博史 氏

②平成30年北海道胆振東部地震

富門華寮 施設長 戸田 好枝 氏

15 : 15 災害対策用品、備蓄品紹介

①社会福祉法人江差福祉会

②道危機対策課紹介業者

③北海道知的障がい福祉協会会員施設・事業所

16 : 15 閉会